

第1編 序論

【第1章】策定に当たって（本編 P2～）

1 策定の趣旨

- （1）策定の背景
 - ・5次総に基づき、コロナ後の社会変化に対応する施策を推進
 - ・しかし、少子高齢化や人口減少による担い手不足が深刻化
 - ・この課題解決に向けた具体的な方向性の提示が急務
 - ・そこで、持続可能なまちづくりを進化させるための6次総を策定
- （2）総合計画の位置付け
 - ・市民と行政がともに目指す将来像を掲げ、その実現に必要な政策を総合的かつ体系的にまとめた、まちづくりの最も基本となる計画
 - ・地方創生や人口減少に対応するための総合戦略を包含した計画

2 策定の基本的な考え方

- （1）変化に柔軟に対応できる計画
- （2）まちづくりの指針として分かりやすい計画
- （3）施策の重点化によるメリハリのある計画
- （4）PDCAサイクルにより改善可能な計画

3 計画の期間

令和9年度から令和13年度までの5年間

4 計画の構成

総合計画は、基本構想（5年間）、基本計画（5年間）、実施計画（3年間、ローリング）の3層構造

【第2章】現状と課題（本編 P4～）

1 駒ヶ根市の現状

- （1）駒ヶ根市の人口動態
- （2）駒ヶ根市の特性
- （3）第5次総合計画の取組状況（中間評価）
- （4）市民意識

2 課題認識（策定の視点）

- （1）自治と共助を支える地域コミュニティの強化
- （2）人口減少社会に即した持続可能なまちづくり
- （3）地域の産業振興
- （4）大規模災害に備え、市民の安全・安心を守る
- （5）多様な人々が居場所をもち活躍できるまちづくり
- （6）脱炭素社会の実現とデジタル社会の実現を目指す

3 これからのまちづくりの基本的な考え方

「人口減少という現実を受け止めつつ、

心地よさと暮らしやすさを実感できる駒ヶ根市へ」

- ・人口減少の現実を受け止め、若年層の維持等による持続可能な「定常型社会」への迅速な適応準備が必要
- ・持続可能なコミュニティの再構築、地域価値の再評価、効率的な行政運営など、限られた資源を最大限活用
- ・人口減少を好機と捉えて新たな仕組みで課題を克服し、心地よさと暮らしやすさを実感できる地域づくりを推進

第2編 基本構想

【第1章】駒ヶ根市の目指す姿（本編 P22～）

1 基本理念

「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」の創造

- ・市民の普遍的価値としての市民憲章をあらためて位置づけ

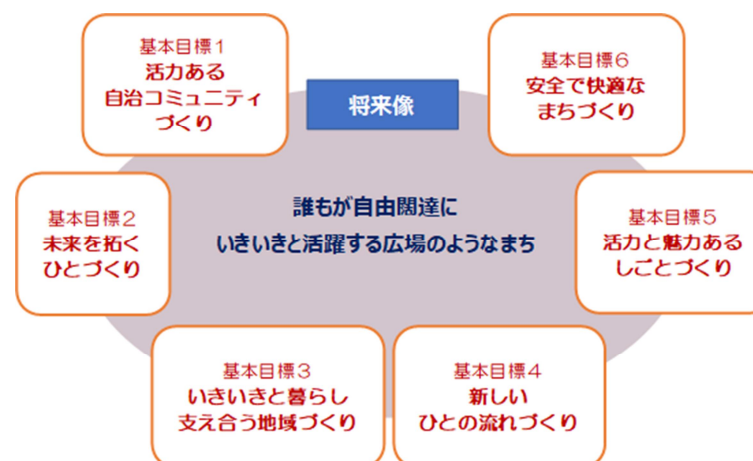
2 将来像

「誰もが自由闊達にいきいきと活躍する広場のようなまち」

- ・人口減少や技術革新、社会経済情勢、価値観の急速な変化に対応するため、互いの違いを尊重し、能力を生かして支え合う「広場のようなまち」の重要性が増している
- ・誰もが居場所を持ち、自由に活躍できるまちづくりを進めていく

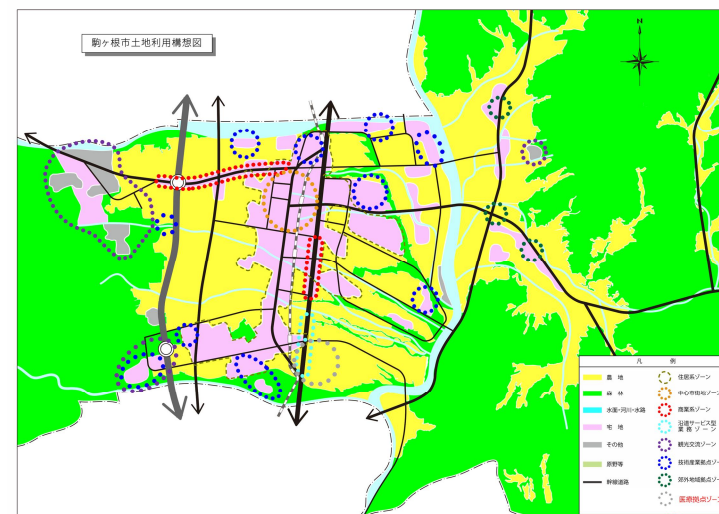
3 基本目標

将来像を実現するために、6つの基本目標を設定



4 土地利用に関する基本構想

- （1）土地利用の基本的な方針
- （2）地域類型別の土地利用の基本方向
- （3）利用区分別の土地利用の基本方向
- （4）土地利用のゾーン設定



【第2章】基本目標と政策の基本的方向（本編 P30～）

基本目標1 活力ある自治コミュニティづくり

- 自治 ○人権・男女共同参画 ○協働 ○多文化共生

基本目標2 未来を拓くひとづくり

- 少子化対策 ○子育て支援 ○教育 ○文化・スポーツ

基本目標3 いきいきと暮らし支え合う地域づくり

- 健康 ○医療・介護 ○福祉

基本目標4 新しいひとの流れづくり

- 観光・交流人口 ○移住・定住促進 ○関係人口

基本目標5 活力と魅力あるしごとづくり

- 農林業振興 ○商工業振興 ○雇用創出 ○人材確保・育成

基本目標6 安全で快適なまちづくり

- 環境・温暖化防止 ○公共交通 ○都市基盤・景観 ○防災・安全

【第3章】基本構想実現に向けた共通基盤（本編 P32）

- 1 自助・共助・互助、市民と行政との協働
- 2 自治体 DX の推進
- 3 健全な行財政運営
- 4 広域連携
- 5 SDGs の推進

第3編 基本計画

【第1章】重点プロジェクト（本編 P36～）

- 1 自治コミュニティ推進プロジェクト
- 2 若者に選ばれるまちプロジェクト
- 3 子育て全力応援プロジェクト
- 4 スポーツで拓くまちプロジェクト
- 5 中心市街地再構築プロジェクト
- 6 竜東振興プロジェクト
- 7 カーボンニュートラル推進プロジェクト

【第2章】施策の展開（本編 P47～）

- | | |
|-------------------------|----------|
| 基本目標1 活力ある自治コミュニティづくり | 2政策 4施策 |
| 基本目標2 未来を拓くひとづくり | 3政策 10施策 |
| 基本目標3 いきいきと暮らし支え合う地域づくり | 3政策 7施策 |
| 基本目標4 新しいひとの流れづくり | 2政策 4施策 |
| 基本目標5 活力と魅力あるしごとづくり | 3政策 8施策 |
| 基本目標6 安全で快適なまちづくり | 4政策 13施策 |

（裏面 体系図参照） 全17政策 46施策

【第3編】基本計画

●総合計画の体系図

基 本 構 想			基 本 計 画		
将来像	基本目標	政 策	施 策	重点プロジェクト	
誰もが自由闊達にいきいきと活躍する広場のよう な まち	1 活力ある自治コミュニティづくり	1-1 未来につづく住民自治のまちづくりを進めます 1-2 多様な市民が協働・共生する地域をつくります	1-1-1 自治組織の持続を可能とする仕組みづくり 1-2-1 差別や偏見がなく、誰もがお互いを尊重し暮らしやすい社会づくり 1-2-2 多世代交流によるまちづくりへの参画と市民活動促進 1-2-3 外国人との共生社会の実現と国際交流	「重点プロジェクト」は、計画期間内（5年間）に推進する事業のうち、特に優先的、重点的、政策横断的に取り組むものです。 ①自治コミュニティ推進プロジェクト 「自治組織の在り方検討会」の提言を踏まえた持続可能な地域住民主体による自治組織づくりを支えます。 ②若者に選ばれるまちプロジェクト 特に女性に選ばれるまちになるため、仕事や働き方、暮らし方などの視点から取組を進めます。 ③子育て全力応援プロジェクト それぞれが思い描く理想の子育てを実現できる環境づくりと支援を進めます。 ④スポーツで拓くまちプロジェクト 国民スポーツ大会を新たなまちづくりの契機とする取組を進めます。 ⑤中心市街地再構築プロジェクト エリアプラットフォームを軸とした中心市街地活性化を進めます。 ⑥竜東振興プロジェクト 竜東振興拠点を核とした農業振興と、高原・中心市街地・竜東の連携軸によるにぎわいづくりを進めます。 ⑦カーボンニュートラル推進プロジェクト 駒ヶ根高原を中心にゼロ・カーボンの取組を進めます。	
	2 未来を拓くひとづくり	2-1 結婚・出産・子育てに希望がもてる環境づくりを進めます 2-2 生きる力を育むための教育を推進します 2-3 とともに学び、文化やスポーツに親しめるまちづくりを進めます	2-1-1 結婚・出産の希望の実現と乳幼児期までの切れ目のない成長発達支援 2-1-2 質の高い幼児教育・保育の推進 2-1-3 安心して子育てできる環境整備の推進 2-2-1 学力の向上と子どもの心身の健やかな成長を支える教育の充実 2-2-2 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上 2-2-3 社会情勢に応じた魅力ある教育環境の整備 2-3-1 生涯にわたる学びの推進 2-3-2 文化財の保存及び活用 2-3-3 文化芸術活動の推進 2-3-4 市民スポーツの振興		
	3 いきいきと暮らし支え合う地域づくり	3-1 健康長寿を推進します 3-2 安心できる地域医療と介護体制の充実を図ります 3-3 安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進します	3-1-1 健康づくりと疾病予防の推進 3-1-2 介護予防の推進 3-2-1 健康保険、福祉医療制度の安定的な運営 3-2-2 地域医療の充実と地域包括ケアの推進 3-3-1 暮らしに寄り添った包括的支援体制の整備 3-3-2 障がい者の生活支援と社会参加の推進 3-3-3 生活困窮者への支援		
	4 新しいひとの流れづくり	4-1 訪れたいくなる、泊まりたいくなる持続可能な観光地域づくりを推進します 4-2 駒ヶ根の強みを生かし、関係人口・移住人口の拡大を推進します	4-1-1 地域資源を生かした魅力ある持続可能な観光地域づくり 4-1-2 国内外からの誘客を促進する広域観光連携の推進 4-2-1 官民連携によるきめ細かな移住促進 4-2-2 関係人口の創出		
	5 活力と魅力あるしごとづくり	5-1 地域資源と新技術を生かした次世代につなぐ農林業を振興します 5-2 にぎわいと活力があふれ、新たな価値を創造する商工業を振興します 5-3 地域経済を担う人材確保・育成を推進します	5-1-1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全 5-1-2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農業の創出 5-1-3 新しい技術を生かした持続的な農業の推進 5-1-4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり 5-2-1 新たな活力を創出する商業・サービス業の振興 5-2-2 交流と活動の場を育む「まちなか」のにぎわいづくり 5-2-3 産業の高付加価値化と企業誘致の推進 5-3-1 次代を切り拓く人材と産業コミュニティの創出・育成		
	6 安全で快適なまちづくり	6-1 カーボンニュートラルに向けた取組を進めます 6-2 公共交通ネットワークの再構築を推進します 6-3 安全・安心・快適な都市基盤整備を進めます 6-4 災害に強く、安全に暮らせるまちづくりを進めます	6-1-1 再生可能エネルギー等の推進 6-1-2 資源循環型社会の形成 6-1-3 環境保全の推進 6-2-1 利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通への再構築 6-3-1 安心して暮らせる住環境の整備の推進 6-3-2 生活に密着した道路整備の推進 6-3-3 幹線道路網の整備の推進 6-3-4 安全・安心な上下水道事業の持続 6-3-5 景観に配慮したまちなみの創造 6-4-1 激甚化する災害への防災・減災対策の強化 6-4-2 自主防災組織・消防団などの地域防災力の強化 6-4-3 交通安全及び防犯活動の推進 6-4-4 消費生活対策の推進		
共通基盤		「共通基盤」とは、各施策を推進していく上で、共通に取り組むべき項目です。			
①自助・共助・互助、市民と行政との協働		②自治体DXの推進		③健全な行財政運営	
		④広域連携		⑤SDGsの推進	